

施策マネジメントシート(2019年度の振り返り、総括)

作成日 2020 年 6 月 30 日

基本目標	V	地域をささえるひとづくり	主管課	名称 総合戦略課 課長 林 市治
施策	27	町民による地域づくりの推進	関係課	

施策の目的	対象	意図	基本事業名	対象	意図
町民	地域づくりを担う。	基本事業	1 地域づくりを担う意欲の向上	町民	自ら地域づくりを担う意識が高まる。
			2 担い手の育成	町民	地域づくり活動のリーダーを輩出する。
			3 活動しやすい環境づくり	町民	地域づくり活動をしやすいになる。
			4		

施策の基本方針	・少子高齢化に対応した地域活動の継続とともに、更なる充実を図るため、町民の地域づくりに対する理解を深め、担い手の育成と取り組みやすい環境づくりを推進します。
---------	--

施策の成果指標	成果指標名	単位	区分	2016年度(H28)	2017年度(H29)	2018年度(H30)	2019年度(R1)	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)
				実績値	実績なし	48.2	50.0	46.6		
A	地域づくり活動に関心を持っている町民の割合	%	実績値	実績なし	48.2	50.0	46.6			
				目標値	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
B	地域づくり活動に参加したことがある町民の割合	%	実績値	44.7	57.0	59.8	58.5			
				目標値	50.0	60.0	63.0	66.0	70.0	70.0
C	まちづくり活動補助金を活用した事業件数	件	実績値	14(※1)	37	57	59			
				目標値	40	40	40	40	40	40
D			実績値							
				目標値						
E			実績値							
				目標値						

指標設定の考え方と実績値の把握方法	<p>A) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成につながると考え成果指標とした。 町民アンケート(翌年度実施分)により把握 ※あなたは今後、地域づくり活動を行ってみたいと思いますか。→「はい」と回答した人の割合</p> <p>B) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成につながると考え成果指標とした。 町民アンケート(翌年度実施分)により把握 ※過去1年間に、地域づくり活動を行ったことがありますか。→「はい」と回答した人の割合</p> <p>C) 事業件数が多ければ、活動が活発に行われていると考え、成果指標とした。 まちづくり団体活動支援補助金等、国・県・町補助金の活用事業件数 (※1については、まちづくり団体活動支援補助事業とコミュニティ助成金事業のみの実績件数である。)</p>
-------------------	--

目標値設定の考え方	<p>A) 地域づくり活動に関心を持つ住民は比較的多いと推測される。内容をよく理解し、また関心を持ち続けてもらえるよう、目標値80.0%とした。</p> <p>B) 道路清掃(道普請)やお祭りなど地域で行う活動に参加する町民は多いが、自主的な地域づくり活動に参加する町民は少ないと推測される。啓発活動やリーダーの育成を進めることにより、地域住民が主体となる地域づくり活動が増え、参加者も増加すると考え、目標値70.0%とした。</p> <p>C) 町独自の活動補助金を活用して、安定的に事業を行える環境づくりを目指すため、申請件数が減少せず横ばいで推移していくと考え、目標値を40件とした。</p>
-----------	---

施策のための目的・役割分担	<p>1. 町民(事業所、地域、団体)の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域づくりへの関心や意識を高め、地域コミュニティやテーマコミュニティなどの活動に積極的に参加する。 地域の課題解決に向けた取り組みや、ニーズに沿った活動を地域住民が主体となって行う。 	<p>2. 行政(町、県、国)の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域コミュニティやテーマコミュニティの住民自治活動を支援する。 町民や地域づくり団体に国や県の地域づくりに関する補助金助成制度を周知するとともに、町独自の支援制度を通して地域づくり活動を支援する。
---------------	---	--

施策を取り巻く状況	<p>1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか?</p> <ul style="list-style-type: none"> 著しい人口減少や急速な少子高齢化により、地域の草刈りや祭りなどの行事を継承することが困難になり、コミュニティの維持が懸念される。 若者の流出や少子化に伴い、コミュニティのリーダーが不足する可能性がある。 地域づくりに対する国及び県費補助金の予算が減少する傾向にあるが、合併振興基金を活用した町独自の各種支援制度が充実してきた。 ここ数年、町民の地域づくりに対する意識が向上し、自助・互助・共助の精神が見直されつつある。 	<p>2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域コミュニティの継続が困難になりつつあるとの意見が寄せられている。 まちづくりの定義や活動内容のとらえ方が人によって異なり、その結果、まちづくりとは何なのか分からないとの意見もある。
-----------	--	--

施策	27	町民による地域づくりの推進	主管課	名称	総合戦略課
				課長	林 市治

施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	実績比較		背景・要因
	① 時系列比較	<input type="checkbox"/> かなり向上した。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。 <input checked="" type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態) <input type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。 <input type="checkbox"/> かなり低下した。	①地域づくり活動に関心を持っている町民の割合は、平成29年度48.2%、平成30年度50.0%、令和元年度46.6%で前年から3.4ポイント減少した。 ②地域づくり活動に参加したことがある町民の割合は、平成28年度44.7%、平成29年度57.0%、平成30年度59.8%、令和元年度58.5%で前年から1.3ポイント減少した。 ③まちづくり活動補助金を活用した事業件数は、平成28年度14件(※1)、平成29年度37件、平成30年度57件、令和元年度59件で前年と比べ2件増加した。(※1については、まちづくり団体活動支援補助事業とコミュニティ助成金事業のみの実績件数である。)
	② 他団体との比較	<input type="checkbox"/> かなり高い水準である。 <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。 <input type="checkbox"/> ほぼ同水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。 <input type="checkbox"/> かなり低い水準である。	①昔から道普請や原材料支給で住民自らが道水路整備を行うなど、特に都市部の自治体に比較して住民参加の水準は高いといえる。 ②近隣市町村で「まちづくり基本条例」を制定しているのは、みなかみ町だけである。県内では太田市、玉村町、伊勢崎市が自治基本条例等を制定している。 ③まちづくり協議会の補助金は、みなかみ町の独自の制度である。
	③ 目標の達成状況	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。 <input type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。 <input checked="" type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。	①地域づくり活動に関心を持っている町民の割合は、目標値80.0%に対し46.6%であった。 ②地域づくり活動に参加したことがある町民の割合は目標値63.0%に対し58.5%であった。年齢別にみると、40歳代以上で50%以上の数値を示している。20歳代で17.9%と、相変わらず若年層で低くなっている。地区別では、新治地区が63.9%で、他の地区よりも高くなっている。 ③まちづくり活動補助金を活用した事業件数は、目標値40件に対し59件であった。まちづくり協議会が49件(全体事業5件、月夜野支部23件、水上支部8件、新治支部13件)、一般コミュニティ助成事業が1件、魅力あるコミュニティ助成事業が1件、地域コミュニティ施設整備事業2件、まちづくり活動団体支援事業が6件であった。

	基本事業名	成果指標名	単位	区分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
					1	地域づくりを担う意欲の向上	A まちづくり団体活動支援補助金の申請件数	件	実績値	14	10
		B		目標値		16	16	16	16	16	16
2	担い手の育成	A リーダーの人数(町内のNPO法人)	人	実績値	19	19	17	17			
		B		目標値		30	30	30	32	32	32
3	活動しやすい環境づくり	A 活動しやすいと感じている団体リーダーの割合 ※2019年度から調査実施	%	実績値	実績なし	-	-	25.0			
		B		目標値		55.0	60.0	65.0	70.0	75.0	80.0
4		A		実績値							
		B		目標値							

今後の課題と取り組み(案)	基本事業名	今後の課題	今後の取り組み(案)	
	1	地域づくりを担う意欲の向上	①町民が地域づくりに対する意思や理解を深めるため、地域の課題を把握する必要がある。 ②地域づくりに関心のある年齢層に偏りがある。	①地域づくり活動を行うために町民アンケートの結果や先進的な地域コミュニティ、テーマコミュニティ活動の情報を提供する。 ②若者や女性が参画しやすいようなまちづくりの方法を研究する。
	2	担い手の育成	①まちづくり協議会員の確保が厳しいため対策が必要となっている。 ②地域コミュニティやテーマコミュニティが継続して活動ができるよう核となる指導者を育成する必要がある。	①まちづくり協議会の活動を分かりやすく周知し、理解度を高め活動への参画を促す。 ②研修や講演、外部講師などを通じて指導者の育成に努める。
	3	活動しやすい環境づくり	まちづくり団体が抱えている課題を把握し、必要に応じて対策を講じる必要がある。	まちづくり団体へアンケートを実施し、今後の取り組みを検討する。 任意団体でも利用できる「まちづくり団体支援補助金」制度を広く町民へ周知し、活用を促す。
4				

